

「青森県基本計画未来への挑戦」の推進体制について

1. 基本的な考え方

「取組の重点化」による計画の着実な推進を図るため、計画に掲げた4つの分野を構成する「政策レベル」の点検を行い、その点検結果を限られた行政資源の中で、効果的・効率的な取組の企画・立案や発現効果の高い事業実施につなげるためのマネジメントサイクルを展開する。

2. 検討にあたっての4つの視点

点検システムの実効性の向上

- ・点検にあたっては、従来の事業レベルまでの子細な評価システムに代わり、今年度行った「総合フォローアップ」と同様、簡素化・効率化・重点化を図る。

総合計画審議会の役割の強化

- ・計画策定作業に積極的・意欲的に関わっていただいた計画策定委員会委員の知見等を次期推進体制においても政策点検等で活用させていただき仕組みとする。

地域の実情を計画推進に的確に反映

- ・政策点検にあたっては、客観的な分析に止まらず、産業界等各種団体からの業界動向や景況感などの情報収集や、県民局と連携し、地域住民や企業等に対するヒアリング結果を分析等に活かす仕組みを導入する。

企画政策部と庁内・県民局との連携体制の強化

- ・効率的で効果的なマネジメントサイクルを実施するため、情報共有・情報交換や重点事業構築にむけた共同作業等、企画政策部が庁内・県民局と横断的に取り組む連携体制を強化する。

3. 未来創造型マネジメントシステムの概要

資料2(イメージ図)参照

(1) 政策点検及び提言

計画に掲げた4つの分野ごとの取組結果を検証するとともに、課題や今後の方向性を踏まえた上で、大局的な視点及び県民の視点から、翌年度県が重点的に取り組むべき政策を明らかにするため、毎年度、

庁内及び県民局における自己点検

自己点検結果に係る総合計画審議会の検証

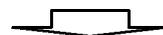
総合計画審議会から知事への政策提言

を実施する。



(2) 政策の基本方針の決定

庁内及び県民局における自己点検の結果及び総合計画審議会からの提言、さらには本県を取り巻く環境変化などを踏まえ、知事をトップとする「作戦会議」において「戦略キーワード」を決定し、翌年度の政策の基本方針を庁内各部局及び県民局に指示する。



(3) 事業の企画・立案・実施

庁内各部局及び県民局は戦略キーワードに基づいて、政策・施策体系に沿った重点事業などを企画・立案し、予算編成作業などを経て事業を実施する。



(4) プロモーション活動

戦略キーワードや重点事業の内容などを、県内外も分かりやすく紹介する広報媒体となる計画の「プロモーション編」を年度末に作成し、情報発信・情報共有を推進する。

4. 政策点検委員会の設置について

(1) 委員会設置の目的

マネジメントサイクルの一環である「政策点検」及び「政策提言」の実施にあたっては、取組結果の検証や課題・今後の方向性の検討等のプロセスにおいて、県民との協働及び客観性の視点を取り入れるため、今年度に引き続き、審議会の下に今年度の策定委員会を専門性等を考慮に入れながら、発展的に改組した政策点検委員会を設置する。

資料3(政策点検等運営方針)参照

(2) 委員会の組織構成等(案)

【組織規模】

各委員の専門分野に止まらない分野を超えた幅広い知見等による活発かつ深みのある議論のやり取りとなるよう、計画策定時の部会や幹事会と同程度の規模とする。

【委員選定の考え方】

策定委員長

次期計画を構成する4つの分野(部会)から部会長を含め、2名とする。

【委員候補者】

	策定委員会の職名	氏名	所属・役職	点検委員会
1	委員長	末永洋一	青森大学総合研究所所長	委員長
2	教育、人づくり部会長	佐藤紘昭	弘前大学教育学部教授	
3	産業・雇用部会長	高山貢	(財)青森地域社会研究所専務	委員長代理
4	安全・安心、健康部会長	久保薫	青森中央短期大学学長	
5	環境部会長	橋本淳一	八戸セメント(株)業務課長	
6	教育、人づくり部会	柳澤泉	NPO法人NPO推進青森会議 副理事長	
7	産業・雇用部会	鶴海誠一	日本銀行青森支店長	
8	安全・安心、健康部会	佐藤敬	弘前大学大学院医学研究科長	
9	環境部会	山田スイッチ	コラムニスト	

(3) 委員会の主な活動内容

《計画推進WG会議(仮称)への参画》 基礎調査...企画政策部

庁内各部が4分野ごとに自己点検結果を基に下記の検証等を加えた課題の洗い出し等を行うワークショップに関係委員が参画し、協働で検討を行う。

注目指標の検証

注目指標(県民所得と平均寿命)に関連する客観指標(農業産出額・製造出荷額・死因別死亡率等)やその他各機関の経済統計指標やデータの直近の推移の分析

県民の生の声の把握

県内の商工業・金融・医療・福祉・環境・教育等各団体からの最新の業界動向や景況感等の情報収集及び県内6地域の住民・企業等からの生活感や企業動向のヒアリング調査の実施と分析



《政策点検委員会での検討》 2回開催(1回当たり3時間程度)

「県の立ち位置(計画の進捗状況)」の検証

アウトルックレポート(と の結果報告書)の状況を加えた自己点検結果の検証により、「県の立ち位置」を検討

重要課題の抽出と今後の方向性の検討

次年度の重点的な取組の目標となる「戦略キーワード」設定につながるよう、課題や方向性を検討、整理

知事への政策提言書の取り纏め

及び の検証、検討を基に次年度の重点政策形成に向けた提言書の作成



知事への政策提言

総合計画審議会から知事に対し、提言書を手交

5. 推進体制の当面のスケジュール(案)

- | | |
|----------|---|
| 2月18日(水) | 第9回総合計画審議会の開催
・政策点検委員会(仮称)の設置 他 |
| 2月25日(水) | 未来創造型マネジメントシステム説明会の実施
・対象：庁内及び県民局 |
| 3月中旬 | 第1回政策点検委員会
・注目指標の検証や県民の生の声の把握の調査手法等の
検討 等 |
| 5月下旬 | 計画推進WG会議(仮称)
・注目指標の検証や県民の生の声の把握 |
| 6月下旬 | 第2回政策点検委員会 |
| 7月下旬 | 第3回政策点検委員会
第10回総合計画審議会 |